

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年4月13日 作成 神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第14週 2016年 4月 4日 ～ 2016年 4月 10日

インフルエンザ 設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	13	8	10	15	18	15	26	67	44	216	1	3	12	8	13	9	10	14	19	5	5	24	13	11	13	16	13	17	5	5

報告定点数 31 ケ所

小児科 設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	1							1		2		1		1										
咽頭結膜熱		1					3	3	1	8			3	2	2	1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	4	1	2	1	2	4	9	32				1	2	4	2	5	4	6	2	6		
感染性胃腸炎	6	16	18	11	20	7	43	74	17	212	1	13	39	22	26	22	10	13	13	7	4	17	3	22
水痘				4		3	2	2	2	13			1	1		1		3	1	3	1	1	1	
手足口病																								
伝染性紅斑					3	2	1		7	13				1		4	2	3		1	1	1		
突発性発疹	2		2					4	2	10	1	3	5	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ			1					1		2				1	1									
流行性耳下腺炎	1				11		1	5	1	19			1		1	4	4	4		1	2	2		

インフルエンザの流行は終息に向かっていると考えられますが、新学期が始まると再び患者数が増える可能性があります。こまめな手洗いなど引き続き感染予防につとめましょう。  
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の報告が例年よりも多くなっています。3～6歳の小児に好発し、発症数日前よりウイルスが排出され、飛沫感染するため保育園や幼稚園などで集団発生が起こりやすい疾患です。発熱や耳下腺の腫れなどの症状が出たときは速やかに医療機関を受診しましょう。予防方法にワクチン接種があり、任意接種(公費助成なし)として1歳以上で接種することができます。

報告定点数 10 ケ所

眼科 設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1			1				3		5			1										1	2		1			

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6101)  
東灘区○ロタウイルス感染症2例:年齢・性別不詳(6101)  
東灘区○ノロウイルス感染症2例:年齢・性別不詳(6101)  
灘 区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳女(6202)  
中央区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0～4歳男(6301)  
垂水区○病原性大腸菌感染症1例:性別・年齢不詳(6804)  
垂水区○細菌性腸炎感染症(カンピロバクター)1例:性別・年齢不詳(6804)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は14人(うち潜在性結核感染症1人)です。

【市内の感染症の状況】

インフルエンザの定点あたり患者数は4.5人となり、  
注意報は解除されました。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年4月13日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0-4歳	2016年4月7日	2016年4月7日	2016年4月7日	/	臨床診断	発熱、嘔吐、 痙攣、意識障害	飛沫感染	

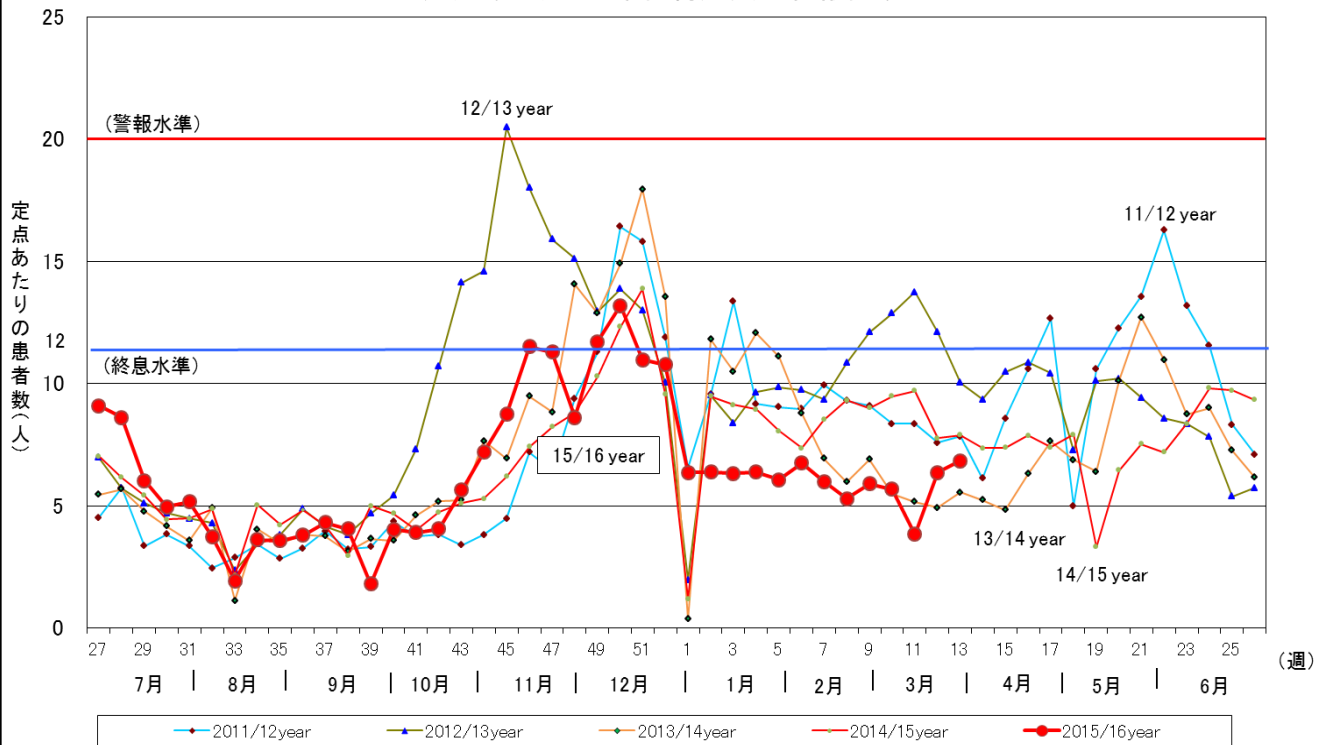
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵袭性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	5-9歳	2016年4月2日	2016年4月3日	2016年4月6日	/	血液培養法	発熱、肺炎、 全身倦怠感、 菌血症	不明	ワクチン接種歴 なし

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型肝炎ウイルス (1A型)	便	東灘	50代女性(4/5採取、A型肝炎)
環境保健研究所からのコメント: 神戸市において分離されたインフルエンザA/H1pdm09ウイルス(2016/2/1~3/17採取分)6株について、抗インフルエンザ薬の効果を調べる試験を実施したところ、全て感受性でした。			

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



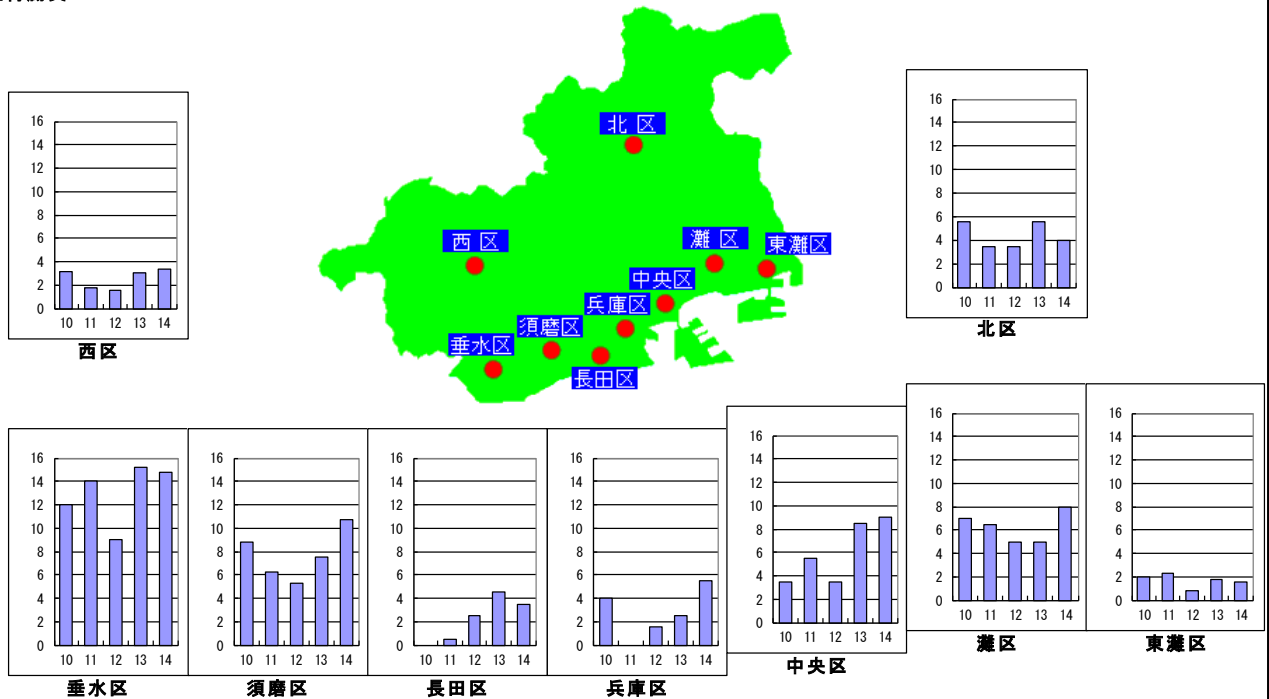
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 10 週 平成28年3月7日

～

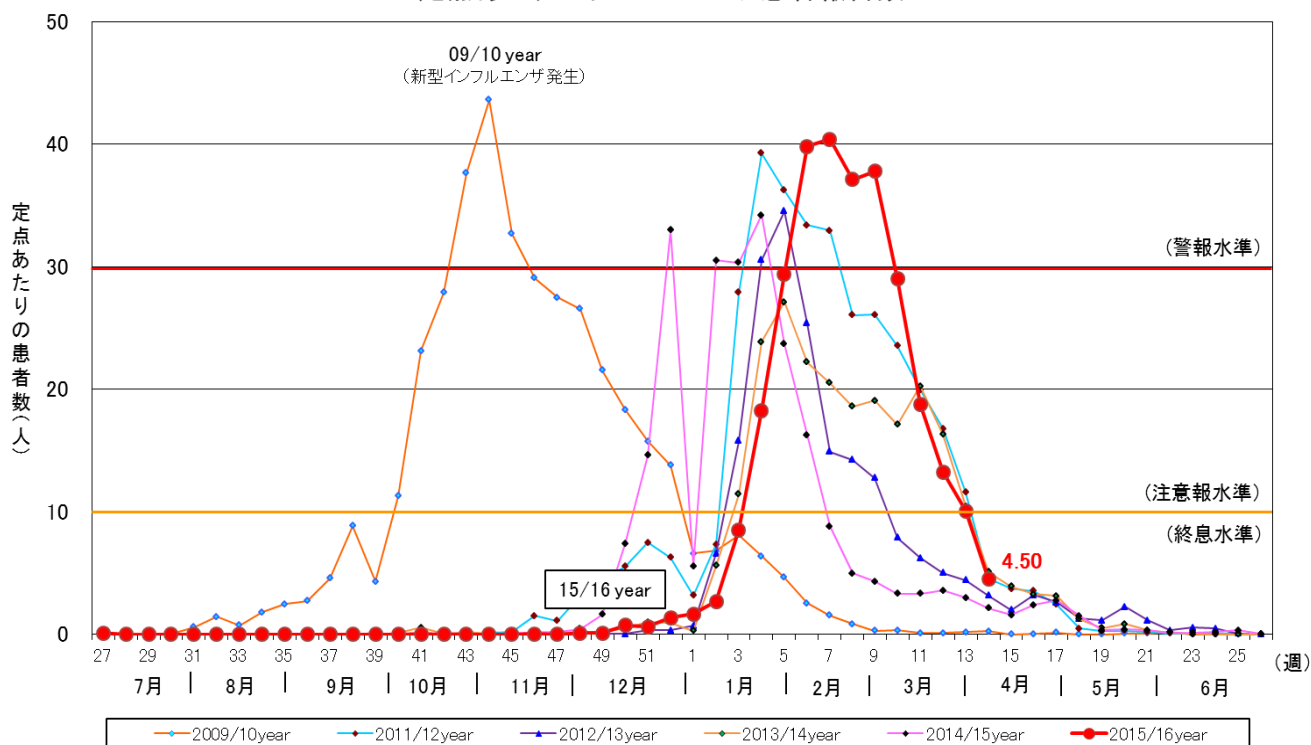
第 14 週 平成28年4月10日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

# 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



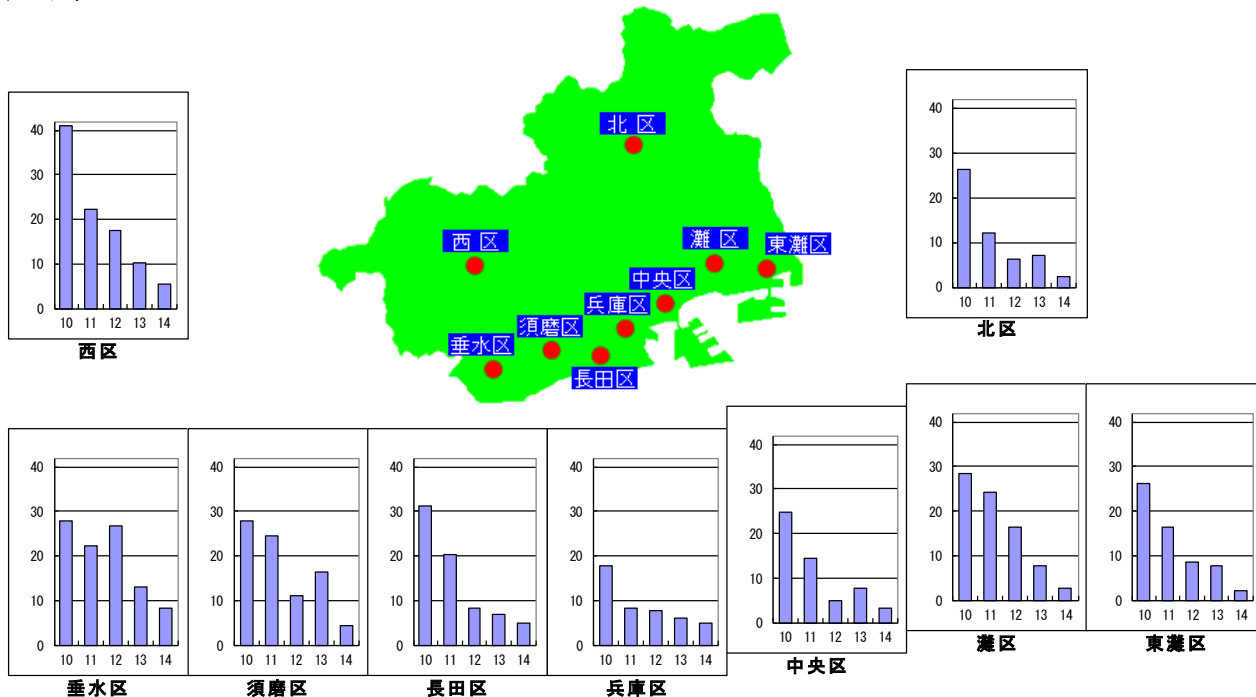
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 10 週 平成28年3月7日

～

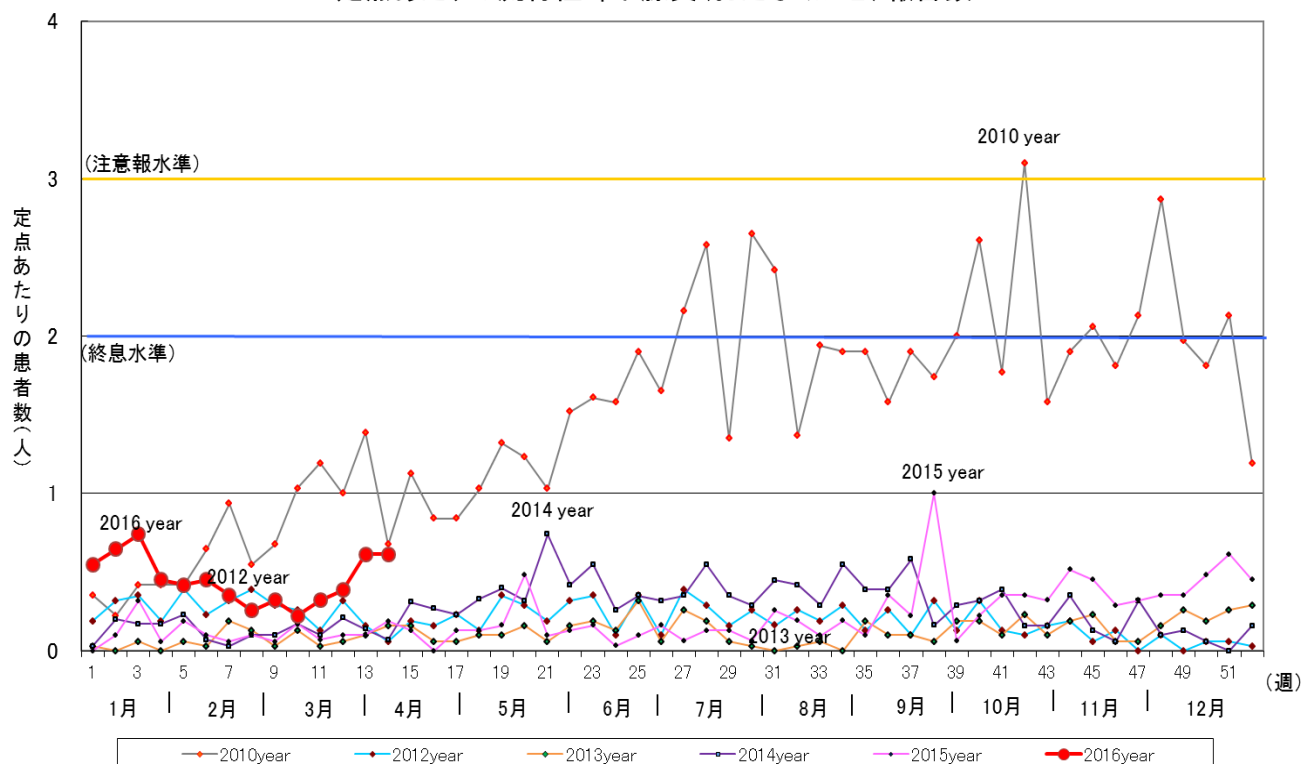
第 14 週 平成28年4月10日

### インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



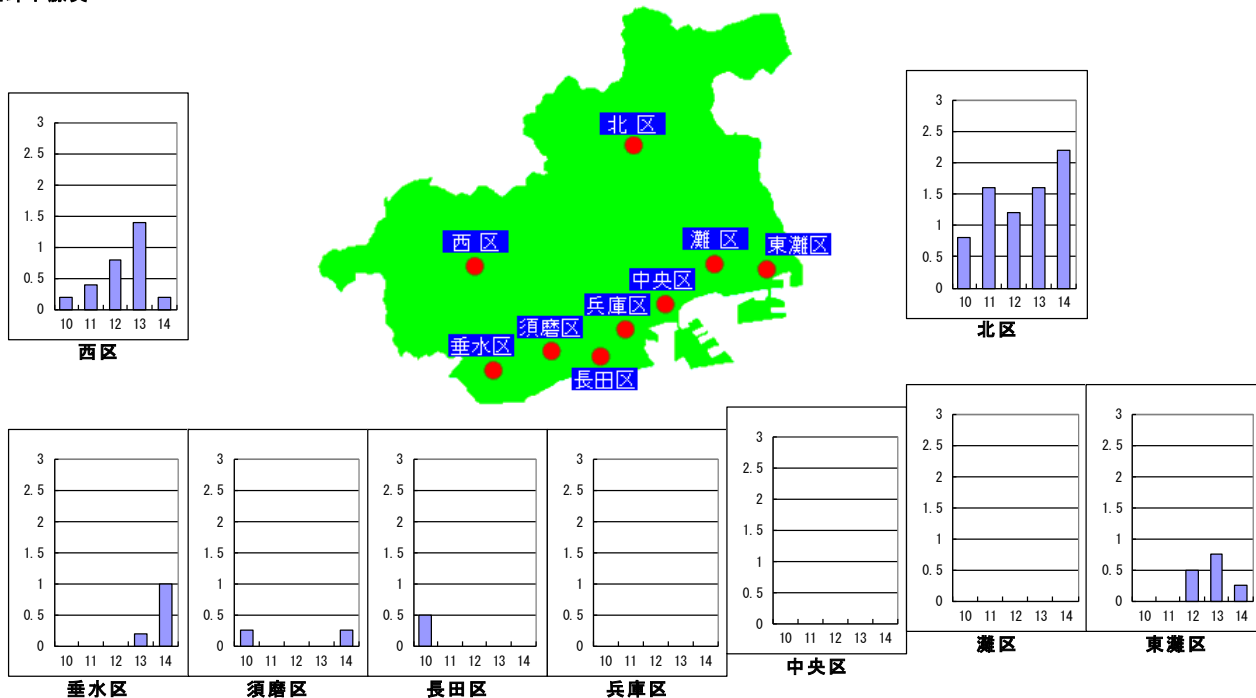
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 10 週 平成28年3月7日

～

第 14 週 平成28年4月10日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。